

第 11 回日系企業安全衛生担当者情報交流会（2018 年 9 月 5 日（水））開催の結果の概要

情報交流会の概要

中災防では、2018 年 9 月 5 日（水）に、中国における日系企業の安全担当者等を対象に、「第 11 回日系企業安全衛生担当者情報交流会～労働災害の削減と安全衛生活動の活性化へ向けて、ともに考えませんか」（（日本国 厚生労働省 補助対象事業、参加無料）を中国・蘇州において開催しました。[ゼロ災害運動](#)の実践、現場への定着に向け、KYT の実践交流ワーク、現場視察や参加者による意見交換等を通じてともに考えました。

情報交流会の結果の概要

当該情報交流会の概要は下記カリキュラムのとおりで、参加者は 57 名（3 名欠席）で、うち中国人 50 名、日本人 7 名でした。



久保田農業機械（蘇州）有限公司（KAMS）様と（株）クボタ宇都宮工場様に全面的な協力をいただき、中国で日系企業の進出が多い都市の一つである蘇州において、KAMS を会場とし本交流会を実施しました。募集に当っては蘇州日商倶楽部（日本商工会議所）から日系企業へ周知をいただき、定員を上回る 60 名以上の応募がありました。日系企業の危険予知活動に対する関心の高さが窺われました。引き続き、[中国安全生産科学研究院](#)（安科院）との協力の上で実施しました。

安科院の謝英暉講師は危険予知活動の理論や手法について、（株）クボタ宇都宮工場の板橋講師はゼロ災害運動の導入と定着のポイントについて説明しました。また、KAMS には、安全衛生活動の取組状況の説明、現場視察での従業員による KYT の模擬演練を行っていただきました。

参加者によるグループワークでは、職場における問題点や取組等について積極的な情報共有がありました。「トップが安全のルールを決めても現場で定着しない」、「従業員の転職もあり、安全研修に多くの時間が費やされる」、「安全より生産が優先されている」、「ヒヤリハットや職場のリスクがなかなか報告されない」、「5S活動の巡視から始めている」、「危険体感研修が効果的である」など多くの問題点、実施済みの対策や対策案が発表されました。

中災防からは、全社一丸となった安全衛生の取組のため、ゼロ災害運動が有用であること、関心のある企業は安科院や中災防に連絡を取ってほしいことを伝えました。

(中国サイドからの参考情報)

中国の国家安全生産監督管理総局（安監総局）は他機関と統合して**緊急管理部**となりました。それにより、緊急管理部は、労働災害のほか自然災害すべてを所管することとなりました。新たに消防等も所管することとなりました。

この緊急管理部の組織改編による安科院の業務に対する直接的な影響はないようです。

(関連記事)

2018年9月5日 [中国緊急管理部への組織改編](#) (PDF 117KB)

平成30年度 日系企業安全衛生担当者情報交流会カリキュラム
 ～労働災害の減少と安全衛生活動の活性化に向けて、ともに考えませんか～

日 程：2018年9月5日(水)

場 所：中国・蘇州(久保田農業機械(蘇州)有限公司)

時 間	時間 (分)	内 容
9:30	10	開会(オープニング)・オリエンテーション(中災防事務局) 開会挨拶 中央労働災害防止協会 専務理事 小野 晃
9:40	45	交流ワーク①(指差し呼称、指差し唱和、タッチ・アンド・コール、健康KY) 中国安全生産科学研究院 安全評価センター副主任 謝 英暉

10:25	10	休憩
10:35	115	交流ワーク②(KYT 基礎4R) 質疑応答 中国安全生産科学研究院 安全評価センター副主任 謝 英暉
12:30	60	昼食・休憩
13:30	40	情報提供① 「ゼロ災運動の導入と定着について」 ゼロ災スピリッツ研究所 代表 板橋 陸
14:10	10	休憩
14:20	120	情報提供② 久保田農業機械(蘇州)有限公司の取組事例の紹介、現場視察 久保田農業機械(蘇州)有限公司ご担当者
16:20	60	参加者による情報交流(グループ別に実施) 「労働災害を減らすために、現場で今、何が必要かを参加者同士で考える」 中災防事務局
17:20	10	アンケート記入 閉会挨拶 中央労働災害防止協会 国際センター所長 福味 恵

[開催案内](#) (PDF 387KB)

[会場案内](#) (PDF 710KB)